

自分を守る！

ビジネスにつなげる！

社会貢献をする！

1.

2.

3. その他防災関連事業者

4.

19 意識の向上、知識・ノウハウの普及を図っている例

事例番号 135

## 住宅の耐震化向上の活動

- 取組主体 特定非営利活動法人住まいの構造改革推進協会、  
ナイス株式会社
- 業種 建設業  
建設業

- 取組の実施地域 東京都
- 取組関連 URL <http://www.jyuukoukyou.jp/earthquake/diagnosis.html>

### 取組の概要

#### 住宅の耐震化についての啓発活動を実施

- 特定非営利活動法人 住まいの構造改革推進協会では、一般消費者に対し、イベントやセミナーを通じて建築基準法の旧耐震基準と新耐震基準の違いを解説するなど、住宅の耐震化の重要性を周知している。あわせて、国や地方公共団体で行なっている耐震改修・耐震工事に対する補助事業を紹介するなど、住まいの耐震化促進のための啓発活動を行っている。
- 特に中小工務店に対し、耐震診断の技術や手法の指導による技術者の認定活動、さらには耐震改修の最新技術や部材の紹介を含む研修会の開催等により、業界全体の住宅の耐震の促進に資する技術力の向上に取り組んでいる。
- 平成 27 年 2 月現在の会員数は 767 社となっている。



【模型を利用した住宅耐震化の技術講習】

### 取組の特徴

#### 事業者、消費者の視点から耐震化を考える

- 阪神・淡路大震災の被害者の 87%が住宅の倒壊等を死因としていた一方、旧耐震基準である既存不適格住宅が 1,050 万棟（平成 20 年当時）存在することから、一戸建住宅を中心に、住まいの耐震化を進めることが重要課題であると認識し、活動を開始した。
- 課題解決のために、個々の居住者の意識の向上、さらには、地域の一戸建住宅の担い手である中小工務店が必要な知識・情報を有することが不可欠であることから、耐震補強部材の供給者及び地域の工務店などから賛同者を募り、NPO 法人として住まいの耐震化を事業者及び消費者の観点から推進することとした。
- 住まいの耐震化促進に特化して、消費者への啓発活動と一戸建住宅整備に直結する中小工務店への技術や手法の指導・育成を特色として活動している。

#### 重視している視点

- かつて「リフォーム」や「耐震」に関するトラブルが報道を賑わせたことがある。しかし、一方で「住まいの耐震化」の社会的な重要性を認知させるため、以下の 2 つの工夫を行っている。

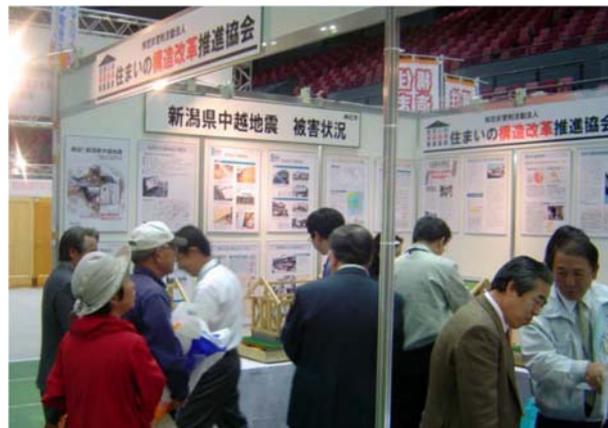
- ① 耐震の重要性を素直に理解していただくこと：耐震診断模型を使って説明することにより、消費者が耳を傾けやすくなり、結果として自分の住まいへの相談へとつながる。また、正しい知識を身につけ、騙されにくくなることで、悪徳業者を排除し、地域の良質な工務店等に耐震リフォーム等を推進するよう工夫している。
- ② 様々な制約条件下でのベストの提案を行うこと：工務店等事業者に耐震診断及び耐震改修の技術・手法を学んでいただくことで、様々な建築条件や顧客の資金・要望に沿った提案を行う力の育成に取り組んでいる。事業者が「住まいの名医」になり信頼や評価を得ることを通じて、実際の耐震化が促進されることを重視している。

### 消費者に対しては、安く簡単に耐震改修を行える工法を紹介

- 消費者に対しては、地方公共団体と連携し、全国 23 ヶ所のイベントにおいて耐震診断模型を活用した耐震構造の解説や最新の耐震改修方法を紹介するなど、住まいの耐震化促進のためのセミナー開催などによる啓発活動を行った（平成 26 年度）。
- 具体的には、安く簡単に耐震改修できる方法の紹介などに力を入れている。例えば、筋交いを入れて耐震補強する場合であっても天井と床を壊さず、天井と床の間の壁面から改修できる工法、内装に手を加えず屋外から施工可能な工法などの紹介を行っている。

### 独自の資格認定制度を立ち上げ

- 事業者に対しては、協会独自の資格制度である「耐震技術認定者認定制度」を設立当初の平成 16 年に立ち上げ、全国各地で年間 140 回の耐震・省エネなどに関する講習会を開催している（平成 26 年度実績）。耐震技術認定者制度は、3 年ごとの更新を必須条件としており、事業者の能力向上に大きく寄与している。
- これらの消費者への啓発活動と事業者への講習会は適時的確にその内容を更新し、常に最新の情報提供を行うこととしている。



【博覧会で耐震の重要性を説明】

## 会員企業による住まいの耐震博覧会

- 展示会形式による一般消費者への住宅耐震化の必要性を啓発している。
- 建築知識の少ない消費者が、イベントを楽しみながら必要な知識を得られるように工夫しており、地震の体験、耐震化の必要性から、耐震技術の内容、耐震改修の方法や、助成制度に至るまで、展示会に来場することにより、包括的な知識が得られるよう展示内容等の構成を企画している。
- 家族来場者等に楽しんでいただけるよう、餅撒き会や子供向けヒーローショーの開催等の工夫を凝らしている。



【地震体験車による地震体験の様子】

## 平時の活用

### リフォームは強靱化のみならず、環境面や生活環境面の充実につながる

- 断熱やバリアフリー改修に合わせて耐震改修を一緒に行う動きが促進されることが期待されるほか、リフォームと一体となった中古住宅流通市場の活性化にも寄与することが期待される。
- 事業者にとっても、耐震診断・耐震改修に必要な知識・技術を豊富に持つことにより、耐震改修工事を的確に行うことができることのみならず、適切なリフォームによる住宅の長寿命化や資産価値の向上などに寄与が可能となる。

## 周囲の声

### 協会での活動がきっかけとなり、地元地域でも耐震化を推進

- 既存不適格住宅の存在とその耐震化は、住宅建設に携わる者にとってしっかり対応しなければならない課題である。住まいの構造改革推進協会での活動を機に、地域に根ざした取組が不可欠との思いに至り、巨大地震の発生が懸念される東海地方において、耐震化を推進する NPO 団体を設立することとした。今後も地域の方々と連携し、住まいの耐震化に取組んでいきたい。(住宅の耐震化関係 NPO 法人)